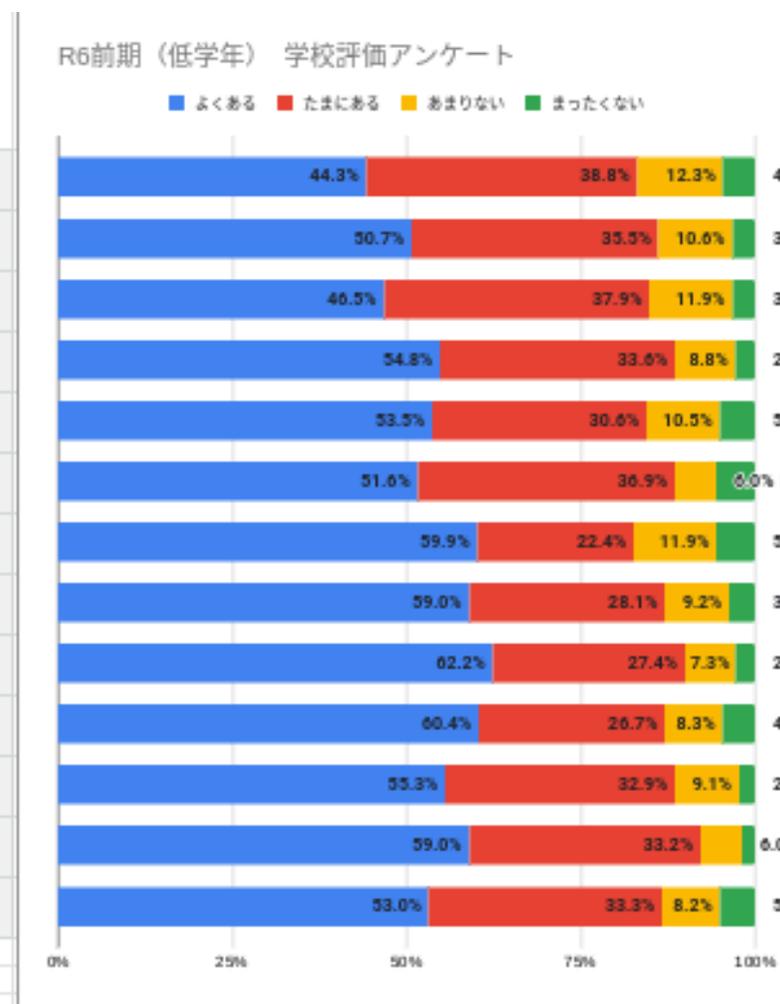


R6前期 低学年アンケート結果

川崎市立稲田小学校

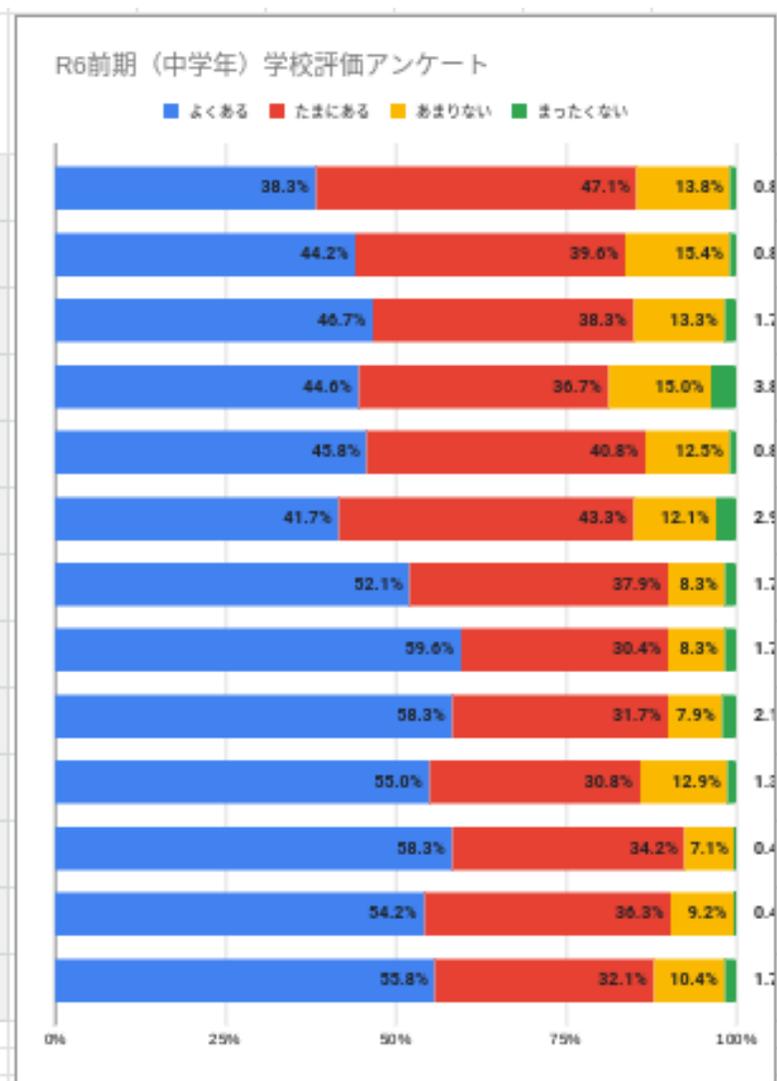
1	かん字やけい算など、ならったことはよくおもい出（だ）せるし、つかうことができます。
2	あいての人にわかるように、いろいろなことばをつかって話（はな）しています。
3	じぶんの考（かんが）えと友（とも）だちの考えをよくきいたり、くらべたりできます。わからないことは、先生に聞（き）きます。
4	ことばづかいに気をつけて、ほかの人が気持ちよく聞けて、よくわかるように話しています。
5	じぶんならどうする、じぶんはこう思（おも）うなど、じぶんの考（かんが）えをもつことができます。
6	友だちの考（かんが）えを聞（き）いて、しらなかったことやあたらしいことに気（き）づいたことがあります。
7	そだてたあさがおや野（や）さいのことはよくおぼえています。学校たんけんや町（まち）たんけんであたらしくわかったことがあります。
8	学校でならうことや、じぶんでしらべることは、おもしろいと思（おも）います。
9	よく食（た）べたり、よくねたり、手あらい、はみがきなどに気（き）をつけています。
10	一人（ひとり）でいるときに火（か）じや、じしんがあったら、どうしたらいいかわかります。
11	じぶんや友だちのいいところを言えます。じぶんのできることをがんばってやろうとしています。
12	じぶんもみんなも、気（き）もちよくいられるようにしています。
13	ふだんはあまりあそばない友（とも）だちとも、なかよく話（はな）したり、いっしょにあそんだりできます。



ほとんどの項目で「よくある」「たまにある」という肯定的な回答が約80%となっており、概ね多くのお子さんに身につけてほしい資質・能力が育っていると思われます。まだ自信をもって肯定的に答えていない児童に、引き続き指導していきます。低学年の発達段階ではこれから育つ部分でもあります。友達の考えをよく聞くことや聞いた意見を比べること、生活科などでの体験と学習内容との結びつきが強くなるよう、授業を工夫していきたいと思ひます。

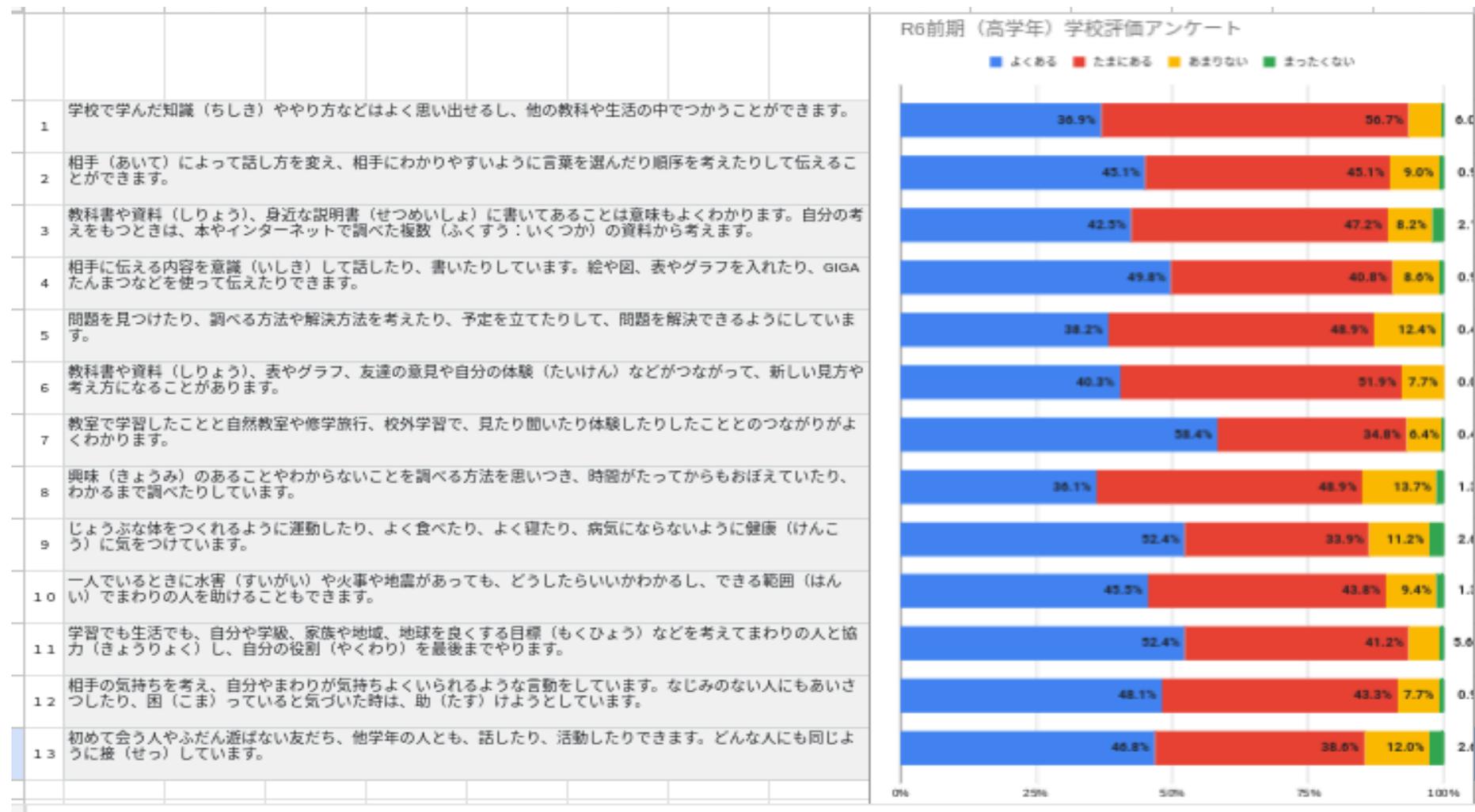
R6前期 中学年アンケート結果

1	教室で学んだことは、よく思い出せるし、ほかの問題（もんだい）や場面（ばめん）でもつかうことができます。
2	ことばづかいに気をつけて、あいての人がわかりやすいように伝える内ようやじゅんばんを考えて話しています。
3	教科書や本、資料（しりょう）に書かれたことは意味（いみ）もよくわかり、自分の考えをもてます。わからないことは、本やインターネットで調（しら）べます。
4	学んだことをかじょう書きにまとめたり、絵や図、表やグラフ、ギガたんなどを使（つか）ってほかの人に伝（つた）えたりできます。
5	他の人と考えがちがっても、自分で正しいと思うことをきめたり、考えてから行動したりします。
6	教科書に書いてあることや体験（たいけん）したことや友だちの意見（いけん）がつながって、自分の考えが新しい考えにかわることがあります。
7	教室でならったことやしらべたことと、育（そだ）てた植物（じぶつ）や町たんけん、校外学習などで見たり聞いたりしたこととのつながりがよくわかります。
8	もっと知りたいと思ったことやわからないことは、すぐに人に聞いたり、じしょやギガたんなどで調（しら）べたりします。
9	あそんだり運動したり、よく食べたり、よく寝たり、病気（びょうき）にならないようにけんこうに気をつけています。
10	一人でいるときに水（みづ）がいや火事（かじ）や地（ち）しんがあっても、どうしたらいいかわかるし、声をかけあうこともできます。
11	悪いところをせめたりせず、自分や友だちのいいところを見つけようとしています。自分のたんとうや当（た）ばんの仕事（しごと）は、最後（さいご）までやります。
12	あい手の人の気持ちを考えて、自分やみんなが気持ちよくいられるように話したり行動したりしています。
13	はじめて会う人やふだんはあそばない友だちとも、なかよく話したり、いっしょに活動（かつどう）したりできます。



中学年では、おおむね8割程度の子もたちが多くの項目で肯定的な回答をしています。けれども、学んで得た知識を他の問題に転用したり応用したりすることや、学んで得た知識と体験とのつながりについては、他の項目に比べて自信のない様子が見られます。教職員アンケートでも、教室での学びと体験や校外学習とのつながりに意識が弱かったことがうかがわれますので、後期は体験と学びのつながりをより意識して授業改善をめざします。

R6前期 高学年アンケート結果



高学年では、9割近くの児童が肯定的な回答をしている反面、「よくある」という積極的な肯定は少なめになっています。このことは、例えば設問2「相手によって話し方を変え、わかりやすいように言葉を選んだり順序を考えたり」というように、中学年に比べてより高度な内容を求めているためと思われます。中学校生活に向けて、自分のことだけでなく、まわりにいる人への手助けも適切に行おうとする意識や態度も育て、自信をもって卒業できるよう働きかけていきたいと思います。